

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
D301	ゼミナールⅡ / EXゼミⅡ	3年	演習	4	山島哲夫
<b>授業概要</b> ゼミ生が居住している都市その他の都市を選んで、その年の現状と問題点について統計データ等を用いて調査分析する(DP2)。調査結果をまとめてレポートを作成するとともに、パワーポイントによる発表用資料を作成する。統計データ等の加工の仕方を学ぶことにあわせて、レポートの書き方、文献調査の方法、パワーポイントによる効果的なプレゼンテーションの方法等について学ぶ(DP1,4)					
<b>到達目標(学習の成果)</b> 様々なデータからまちの実態を明らかにする方法を習得させるとともに、討議等を通じて身近な都市の現状を理解させ、まちの見方を学ばせる。また、研究成果を対外的に発表する。					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	検討対象都市	各自が対象とする都市を検討する			
2	↑資料収集	実態分析のための必要なデータについて			
3	文献調査	同上の詳細について検討・討議			
4		図書館・市役所等で必要な資料の入手			
5		同上について具体的な段取り方法等について			
6		データの整理(1)人口・産業等			
7		データの整理(2)まちの構造、まちの特徴			
8		追加データの収集			
9	調査結果のまとめ	データの取りまとめ、作業方針等の確認			
10	現地調査	検討対象都市の現地調査			
11	現地調査	上記の検討対象以外の対象都市の現地調査			
12	↓討議	データ分析の方法等について討議			
13	中間レポート作成	レポート作成の準備			
14	中間レポート作成	レポート作成方法の指導			
15	レポート発表	作成したレポートの提出と発表			
16	比較対象都市の検討	比較対象都市の選定			
17	↑資料収集	調査対象都市と比較する都市に関するデータ収集			
18	文献調査	当該都市に関する文献調査			
19	↓現地調査	現地視察			

20	↑ 視察結果のまとめ	視察結果のまとめと討議
21	調査結果の取りまとめ	中間レポートの提出
22	討議	中間レポートをもとに討議
23	討議	中間レポートをもとに詳細の討議
24	↓ 討議	検討対象都市の特徴について討議
25	最終レポートの作成	最終レポートのポイントを提出し、最終レポート作成に向けた討議
26	↑ レポートの作成	レポートの内容検討とパワーポイントの作成方法
27	レポートの作成	パワーポイントの完成
28	レポート発表(1)	レポート発表(1)半数
29	↓ レポート発表(2)	レポート発表(2)残り半数
30	全体のまとめ	一年間のゼミのまとめと卒業研究に向けての討議

#### 準備学修(授業外の自己学修)

ゼミ活動は、ゼミ生が自主的に行うことが前提になる。ゼミの際に割り当てられた資料の作成等は必ず行うこと。レポートの作成等に当たっては、各自必要に応じて市役所や検討対象都市の図書館などの資料を調査し収集すること。

#### 成績評価の方法・基準(%表記)

レポートの提出状況及び授業への取り組み姿勢、資料作成内容等 70% 最終レポートの内容 30%

観点	S	A	B	C
様々なデータを読み解く能力 DP2	完全に身に付いている	ほぼ完全に身に付いている	十分に身に付いている	一定程度身に付いている
調査分析した内容を適切にまとめる能力及びプレゼンテーション能力 DP1	完全に身に付いている	ほぼ完全に身に付いている	十分に身に付いている	一定程度身に付いている
研究成果の取りまとめ及び対外的な発表に対する貢献 DP4	中心的な役割を果たしている	取りまとめに十分な貢献をしている	積極的に発表に取り組んでいる	発表に協力している

#### 教科書

教科書は用いない。必要に応じて資料を配布する。

#### 参考書等

ゼミの際に参考図書については指示する。

#### 履修上の注意・学修支援

1. ゼミは毎回休まずに参加し、共同での作業を積極的に行うこと。
2. 本授業は出席を重視している。2/3以上出席しない場合は、欠格扱いとなるので注意すること。
3. 何かわからないことがあったら、早めに相談すること。なお、相談は、原則としてオフィスアワーの時間に受け付ける。